

平成23年度 施策達成度評価シート (平成22年度実績評価)

40

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	44	豊かな心を育む芸術文化活動の支援
施策主管部 教育委員会		評価者(施策統括マネージャー)名 萬 明夫	

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	芸術文化活動に親しむ機会が確保されている

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 (年度目標値)	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市民アンケート調査 「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合	%	↗	40.20	48.00	40.10	42.50	50.00

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
市民アンケート調査 「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合	データなし

3 達成度評価結果

取組内容と成果, 成果を得られた要因	4館の文化会館において, 指定管理者による管理運営の下, それぞれの特性や地域性を生かした芸術鑑賞事業や文化会館活動事業を展開するとともに, 共催や後援を通して市民の発表機会の支援に努め, 市民の芸術文化活動の推進を図った。しかし, 震災による影響もあり, 芸術鑑賞事業の鑑賞者数及び文化会館活動事業参加者数は, 目標値を下回ってしまった。 施設については, 良好な施設環境を維持するため, 市民文化ホールに市民から要望のあった手すりを設置した。また, 指定管理者において, サービス向上に向けた工程表を作成し, 年次事業計画に具体的項目を明記し, 段階的にサービス向上を図っていくこととした。こうした状況の下で, 芸術文化活動の場として施設を提供したが, 文化会館平均利用率及び文化会館利用者数は目標値を下回った。
翌年度以降の課題, その要因	市民の意向を基本に, それぞれの館の特徴を生かしつつ, 広範で優れた芸術鑑賞事業を展開するとともに, 市民の文化活動を支援する。また, 文化会館と公民館が連携し, 創作意欲を喚起する講座の充実や学校との連携に努め, 市民が芸術文化に親しむ機会の拡大に努める。 各館とも施設や設備に経年劣化が見られるが, 財政事情から計画的な修繕を実施できない状況にある。舞台設備の故障及び劣化等は, 人命を危険にさらす可能性や公演等の即時中止につながるおそれがあるため, 緊急性のあるものについては, 早期の対応に努める必要がある。また, 市民ニーズの把握に努めサービスの向上を図っていく必要がある。

